

重要業績評価指標（KPI）の令和2年度の状況

別冊資料 2

重要業績評価指標（KPI）					
指標名	単位	R元年度【A】	R2年度【B】	増減【B-A】	令和2年度の実施状況等 (新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響)
		下欄は基準となる期間			
住民基本台帳に基づく社会増減 (島根県推計人口に基づく社会動態)	人	89	127	38	※住民基本台帳に基づく社会増減は総務省が年1回公表している数値のため、島根県推計人口に基づく社会動態の数値を記載 【町村の内訳】 ・R元年4月～10月：海士町44人、西ノ島町6人、知夫村7人、隠岐の島町32人 ・R2年4月～10月：海士町53人、西ノ島町14人、知夫村17人、隠岐の島町43人
		R元年4月～10月	R2年4月～10月		
離島住民等の航路輸送旅客数	千人	フェリー 72.5	フェリー 41.3	フェリー△ 31.2	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用者は前年度と比べ3月から減少し、5月に最も落ち込んだが、その後徐々に回復し、10月には▲12%となっている。
		高速船 60.9	高速船 32.6	高速船 △ 28.3	
		合計 133.4	合計 73.9	合計 △ 59.5	
		R元年4月～10月	R2年4月～10月	-	
離島住民等の航空路輸送旅客数	千人	6.0	3.9	△ 2.1	・R2年3月以降から新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用者の大幅な減少が見られたが、緊急事態宣言解除後は、徐々に回復傾向にあり、10月実績では前年比で同等程度となっている
		R元年4月～10月	R2年4月～10月		
主要農林水産物の販売額	百万円	農産物:460	農産物:371	△89	【農産物】 農産物全体（米＋繁殖牛＋肥育牛）では、R元年9月末460百万円に対しR2年9月末は371百万円（対前年同期比81%） 米は、全国的な外食産業の需要減はあるが順調に販売できており、対前年同期比101%（JA取扱高）の状況 繁殖牛（子牛）は、市場平均単価が下落したことにより対前年同期比77%（JA取扱高）の状況 肥育牛は外食向けの販売が減少。お歳暮商戦による需要増により徐々に回復してきているが、対前年同期比76%の状況 【林産物】 原木は島外向け出荷額11%増、島内向け出荷額47%減、トータルで5%の減 製材品出荷額は、島外及び島内向けとも順調で16%の増 きの出荷額は、大規模な原木椎茸生産事業体が生産を中止したため、50%の減 【水産物】 マダイ、サザエ、ベニズワイガニ、エッチュウバイ等は単価が平年を下回って推移 エッチュウバイは、出荷先の市場の受入制限の影響で漁獲制限を行ったため、漁獲量が減少
		林産物:175	林産物:171	△4	
		水産物：4,214	水産物：4,000	△214	
		R元年4月～10月 (農産物のみR元年4月～9月)	R2年4月～10月 (農産物のみR2年4月～9月)		
農林水産業新規就業者数	人	農業：5	農業：5	±0	【農業】 自営就農者2名、雇用就農者3名 【林業】 隠岐島後森林組合組合2名、隠岐島前森林組合2名 【水産業】 雇用就業者11名(隠岐の島町5名、西ノ島町6名)
		林業：3	林業：4	1	
		水産業：7	水産業：11	4	
		R元年4月～10月	R2年4月～10月		
新規雇用者 (公共職業安定所就職件数)	人	73	107	34	・今年度の就職件数が多いことについて、特段要因は考えられない ・ハローワーク隠岐の島管内での求人及び就職件数は医療・介護や建設業が割合として高く、これらの業種はコロナの影響を受けにくい ・また、それ以外の業種についてもコロナの影響で解雇を行った事業者はほとんどない
		R元年4月～10月	R2年4月～10月		
宿泊客延数	千人泊	68	31	△ 37	・R2.3月の対前年比70%から始まり、5月には同19.9%まで落ち込んだが、その後GoToキャンペーン、しまねプレミアム宿泊券、おき得乗船券等による観光需要の回復及び緊急事態宣言解除によるビジネス需要の回復により7・8月が対前年比55%、9月が85.9%と回復傾向にある。
		R元年4月～9月	R2年4月～9月		
推定入島客数	千人	92	41	△ 51	・R2.3月の対前年比85.4%から始まり、5月には同13.7%まで落ち込んだが、その後GoToキャンペーン、しまねプレミアム宿泊券、おき得乗船券等による観光需要の回復及び緊急事態宣言解除によるビジネス需要の回復により7・8月が対前年比47%、9月が69.9%、10月が92.9%と回復傾向にある。
		R元年4月～10月	R2年4月～10月		